



令和2年度

# 教育委員会事務点検・評価報告書

はじめに	1
1 教育委員会の活動状況	
(1) 教育委員会定例会	2
(2) 総合教育会議	5
(3) その他	5
2 教育委員会における事務の管理・執行状況	
(1) 学校教育	6
(2) 生涯学習	8
(3) 芸術文化の振興と文化財保護	9
(4) 生涯スポーツ	9
3 外部委員評価	10

2021年6月

井川町教育委員会

## はじめに

平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され、各教育委員会においては、毎年、教育行政事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが定められました。

本報告書は、第26条の規定に基づき、本町教育行政の充実発展を目指すとともに町民への説明責任を果たすため、達成度を評価したものです。

### 第二十六条

教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委託された事務を含む）を含む）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

#### 評価スケジュール

- 2月 教育委員及び事務担当の自己評価
- 3月 外部評価委員へ評価の依頼
- 4月 評価結果のまとめ及び教育委員会定例会で評価を議決
- 6月 評価結果を6月議会に提出
- 7月 評価結果の公表（井川町ホームページ）

#### 対象事業

- ・教育委員会が直接関与している事業或いは活動している事業を「教育委員会の活動状況」とします。
- ・教育委員会が管理・執行している事務事業や教育長に委任している事務を「教育委員会における事務の管理・執行状況」とします。

#### 点検評価基準

A	達成している ねらいに沿った具体的成果が表れている
B	おおむね達成している 具体的な成果が表れているが改善の余地がある
C	達成していない 事業の見直しを含めた検討が必要である

#### 外部評価委員について

点検・評価内容の客観性を確保するため、教育に関して学識を有する外部委員に意見と総評をいただきます。外部委員には、平成31年教育委員会4月定例会で石井昭廣氏（八幡）を議決し、今年度も引き続き評価をいただきました。

1 教育委員会の活動状況  
 (1) 教育委員会定例会

月	開催日	審議内容
4月定例会	4月27日(月)	<p><b>【議決事項】</b>            (第11号) 令和2年度教育方針について議決した。            (第12号) 令和2年度準要保護児童生徒の認定を行った。            (第13号) 令和元年度教育委員会事務点検・報告書について議決した。</p> <p><b>【報告事項】</b>            ・4月中の新型コロナウイルス感染拡大に関する対応            ・休校措置に伴う町の支援            ・町教委、公民館、学校関係予定行事(5月分)</p> <p><b>【協議事項】</b>            ・新型コロナウイルス感染拡大に伴う今後の対応を協議した。</p>
5月定例会	5月25日(月)	<p><b>【義務教育学校校長懇談】</b></p> <p><b>【議決事項】</b>            (第14号) 井川町民体育館条例施行規則の一部を改正する規則について議決した。            (第15号) 井川町学校応援協議会規則の一部を改正する規則について議決した。</p> <p><b>【協議事項】</b>            ・学校夏季休業日について協議した。            ・7月以降の教育委員会、公民館、学校行事について協議した。</p> <p><b>【報告事項】</b>            ・GIGAスクール構想「一人一台端末」整備事業の進捗状況            ・町教委、公民館、学校関係行事予定(6月分) ほか</p>
6月定例会	6月29日(月)	<p><b>【報告事項】</b>            ・人事案件(処分)            ・6月定例議会の教育委員会関連事項            ・副読本制作委員会進捗状況            ・第1回宿泊行事研究委員会協議内容            ・第1回社会教育委員の会議諮問内容            ・第2回教職員研修会(案)            ・夏休みの体験事業            ・町教委、学校、公民館関係行事予定(7月分) ほか</p>
7月定例会	7月27日(月)	<p><b>【議決事項】</b>            (第16号) 令和3年度中学校教科用図書を採択した。</p> <p><b>【報告事項】</b>            ・義務教育学校における社会性の伸長の調査結果            ・教員の勤務時間状況と対応            ・修学旅行アンケート結果(児童生徒・教員)            ・夏季休業中の主要事業計画            ・中体連等大会結果            ・「八郎湖はよみがえるかー水質改善策ー」作文・論文            ・町教委、公民館、学校関係行事(8月分) ほか</p>

月	開催日	審議内容
8月定例会	8月31日(月)	<p>【研修】</p> <p>第2回井川町教職員研修会(オンライン) 講師 弘前大学教育学部教授 宮崎充治氏 演題 「自律的学習者・自律的市民を育てるアクティブラーニング」</p> <p>【報告事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第一回学校応援協議会協議内容</li> <li>・町教委、公民館、学校関係行事予定(9月分)</li> <li>・各種大会等の結果</li> </ul> <p style="text-align: right;">ほか</p>
9月定例会	9月28日(月)	<p>【報告事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・井川町教育委員の任命(斎藤委員)</li> <li>・義務教育学校管理職登用試験</li> <li>・9月定例議会教育委員会関係内容</li> <li>・市町村教育委員連合会要望事項</li> <li>・斎藤肇氏寄贈図書</li> <li>・教育委員会、公民館、学校関係行事予定(10月分)</li> <li>・各種大会等の結果</li> </ul> <p style="text-align: right;">ほか</p>
10月定例会	10月26日(月)	<p>【報告事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人事案件</li> <li>・町民作品展覧会開催状況</li> <li>・義務教育学校記念講演会内容</li> <li>・6年生修学旅行日程</li> <li>・公民館図書室選書ツアー実施計画</li> <li>・井川町出身者書籍収集概要</li> <li>・教員の勤務時間超過に係るヒアリング結果</li> <li>・教育委員会、公民館、学校関係行事予定(11月分)</li> </ul> <p style="text-align: right;">ほか</p> <p>【協議事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合教育会議提案予定の教育中期計画(案)について協議した。</li> <li>・井川町教育情報セキュリティポリシーについて協議した。</li> </ul>
11月定例会	11月30日(月)	<p>【義務教育学校校長との懇談会】</p> <p>【協議事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第5次井川町総合振興計画及び教育中期計画について協議した。</li> <li>・令和3年度教職員人事構想(案)の方針等について協議した。</li> </ul> <p>【報告事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度教育支援会議協議内容</li> <li>・市町村教育長会議内容</li> <li>・第3回学校応援協議会協議内容</li> <li>・教育委員会、公民館、学校関係行事予定(12月分)</li> </ul> <p style="text-align: right;">ほか</p>

月	開催日	審議内容
---	-----	------

12月定例会	12月21日（月）	<p><b>【協議事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第5次井川町総合振興計画（素案）について協議した。</li> </ul> <p><b>【報告事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・義務教育学校の進路状況</li> <li>・児童生徒ケース会議協議内容</li> <li>・教育委員会、公民館、学校関係行事予定（1月分）について ほか</li> </ul>
1月定例会	1月25日（月）	<p><b>【報告事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・義務教育学校の進路状況（1月末現在）</li> <li>・令和2年度県学習状況調査結果</li> <li>・第3回教職員研修会内容</li> <li>・教育委員会、公民館、学校関係行事予定（2月分） ほか</li> </ul>
2月定例会	2月26日（金）	<p><b>【議決事項】</b></p> <p>（第1号）令和3年度教職員の異動に係る内申について議決した。  （第2号）井川町学校給食調理場管理運営規則の一部を改正する規則について議決した。  （第3号）井川町公民館図書室管理運営要綱について議決した。  （第4号）義務教育学校卒業式告辞（案）を原案どおり議決した。</p> <p><b>【報告事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会教育委員の会議「井川町成人式の時期やあり方について」の答申内容</li> <li>・第4回学校応援協議会協議結果（学校評価）</li> <li>・義務教育学校社会性の伸長調査結果</li> <li>・義務教育学校進路状況</li> <li>・教育委員会、公民館、学校関係行事予定について（3月分）ほか</li> </ul>
3月定例会	3月29日（月）	<p><b>【議決事項】</b></p> <p>（第5号）令和3年度教育委員会職員人事異動内申  （第6号）義務教育学校入学式告辞（案）  （第7号）井川町教育委員会事務点検・評価報告書  （第8号）井川町学校応援協議会委員の委嘱  （第9号）井川町社会教育委員の委嘱  （第10号）井川町文化財保護審議委員の委嘱  （第11号）井川町公民館運営委協議会委員の委嘱  （第12号）井川町スポーツ推進委員の委嘱  （第13号）令和3年度準要保護児童生徒の認定</p> <p><b>【報告事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度3月町議会定例会の審議状況</li> <li>・義務教育学校の進路状況</li> <li>・学校医、学校歯科医及び薬剤師の委嘱 ほか</li> </ul>

(2) 井川町総合教育会議

開催日	案件
12月21日(月)	・第五次井川町総合振興計画及び第2期井川町総合戦略について ・意見交換 ※ 文化財保護、義務教育学校の教育内容等、井川町の教育充実のための議論が行われました。 ・その他

(3) その他

- ・義務教育学校授業参観 (5月25日、11月30日)
- ・井川町教職員研修会 (第1回4月2日、第2回8月31日、第3回1月11日)
- ・諸行事参観 (開校式・入学式、学校祭、開校記念行事)

2 教育委員会における事務の管理・執行状況

(1) 学校教育

理念	重点	到達目標 ( ) と結果 (○△×)	具体的取り組み《》と成果	評価
<p>あ た た か な 心  夢 と き め く  ひ と づ く り</p>	<p>学力の向上</p>	<p>対話や討論のある授業が展開されている。 × 対話は全校的に展開されている。討論については一部では行われているが、多くの授業では至っていないなど目標は未達成である。</p> <p>学力調査が県平均を上回る。 ○ 12月実施の県学習状況調査で4年生から8年生までの平均が県平均を0.1P上回るなど目標を達成した。</p>	<p>《児童生徒一人一台タブレットの整備》 国の公立学校情報機器整備費補助金及び公立学校情報通信ネットワーク環境整備事業費補助金を活用し、令和2年7月30日に全児童生徒分246台の整備、9月7日までに校内LAN及び無線LAN整備工事を実施。これは県内で最も早い導入実績であったことから8月27日にはNHK秋田放送局より2年生のタブレットを活用した授業と8年生のオンライン授業の様子が取材された。</p> <p>《武埴三山の著作による国語副読本の制作》 制作委員会を計4回開催し、委員長の三浦衛氏を中心に作品の選定や解説・注釈付けの作業、校正を行った。今年度中に印刷製本をし、来年度の6～9年生の授業の中で扱っていく。国語の授業だけではなく、ふるさと学習等でも使用していく予定である。</p> <p>《リーディングスキルテストの実施》 文章を正しく読むことができなければ教科の内容を理解することができないという、文章を読み解く力を測ることを目的としたリーディングスキルテストを6・7・8年生と教員が受検し、結果に基づき読解力を伸ばす授業の研究に役立てた。</p> <p>《職員研修への外部講師派遣》 新型コロナウイルス感染症対策により、県外からの外部講師招聘が困難であったため、弘前大学宮崎教授より実際のオンライン授業を体験するため、弘前大学と義務教育学校間で実際にZOOMを活用しオンライン研修を実施し今後の学校休業した場合の対応を研修した。</p> <p>《新型コロナ感染拡大に伴う臨時休校への学力保障》 4月14日から5月11日までの臨時休校期間中、時短・分散登校の実施のためのスクールバス運行を実施。また、夏休み期間中の6日を臨時登校日としスクールバスを運行を実施。</p> <p>《学習支援員の配置》 今年度より前期課程の英語と、昨年度から引き続き事務局の会計年度職員を後期課程の数学でTTとして支援を行った。</p> <p>《ICT支援員の配置》 今年度より、児童生徒一人一台タブレットの整備に併せ、週2日実施した。教員等へのICT機器操作研修や指導、授業開始時の機器設定や授業中の操作補助等幅広く支援してもらい、児童生徒及び教員等へ学校のICT化へのサポートを実施した。</p> <p>《図書カードの贈呈や学校図書館図書費の充実》 新型コロナウイルス感染拡大による臨時休校期間中の読書活動推進のため、例年より早く児童生徒へ図書カードを贈呈した。また、昨年度並みの図書購入費に加えて民間企業から図書カードの寄付を受け、例年より図書購入費が充実した。</p>	<p>A</p>
	<p>社会性の伸長</p>	<p>社会的な事象や出来事への関心が高くなる。 × 全国学力学習状況調査で、「社会をよくするために何をすべきか考えている」という質問に、県平均に比べて6年生では-3.2P、9年生は-16.3Pだった。</p> <p>他学年と協力したりなかよくなるなどの関係が強くなる。 ○ 4点法による社会性測定調査での同様の質問に、全校平均が昨年比で0.1P上昇した。</p>	<p>《男鹿探検・日本海体験講座の実施》 1～4年生60名は、なまはげ伝承館・男鹿水族館を巡り、5年～8年生58名は八森海岸でシーカヤックや海水浴、磯釣り体験を行った。コロナ禍であらゆる行事が中止になる中、楽しく充実した時間を過ごすことが出来た。</p> <p>《学校で実施する宿泊学習の調査研究》 宿泊行事検討委員会において今後の新しい宿泊学習の形について検討した。今までの固定観念にとらわれず、行き先を海外等も含めて検討した。</p> <p>《ふるさとを考える講座等の実施》 昨年度実施した「夕学の会」は、コロナ渦により実施出来なかったが、10月26日の慶応義塾大学生とのオンラインによる健康副読本授業での井川町の「塩」による健康診断の歴史や、11月30日の義務教育学校開校記念講演会へ町出身者 三浦衛氏による「ふるさとと私」をテーマに講演会、意見交流会を開催した。</p> <p>《放課後拡充カリキュラムの実施》 全学年で午後の授業を週2コマ減らし放課後を早め、学力向上のために学習に集中すること、放課後の自主的な活動を充実させること、教師の授業研究や事務業務が出来るようにすることを目指し、新カリキュラムを導入し、児童生徒、教員ともに一定の成果を収めることができた。</p> <p>《QUの全学年の実施・社会性測定尺度による社会性調査の実施》 今年度も全校でQU調査及び国立教育政策研究所が作成した児童生徒の自己評価による社会性測定用尺度を参考に、井川町の子どもの社会性の状況調査を実施した。今後も各学年の社会性の傾向について継続し</p>	<p>A</p>

理念	重点	到達目標 (□) と結果 (○△×)	具体的取り組み 《》 と成果	評価
あたたかな心 夢ときめく ひとつづくり	温かな心・健康な体	<u>生活習慣改善への意識が向上する。</u> ○ 尿検査の参加率が、昨年比で30%上昇した。  <u>積極的に運動する意欲が向上する。</u> △ 今年度の全国体力運動能力調査はコロナ感染拡大により中止。	《新型コロナ感染拡大への対応》 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、大型サーキュレーター2台、送風機6台、足踏み式アルコール噴霧器3台、サーモグラフィ2台等を設置し、感染拡大の予防を実施した。また、児童生徒の学びの保障推進事業を活用し、学校にスクールサポーター1名を配置し、学校内の除菌清掃業務を行った。  《モグリウム水槽事業への支援》 はちろうプロジェクトによる、義務教育学校に設置しているモグリウム水槽の成果報告会への後援を実施した。  《町健康教育副読本の活用への支援》 昨年度に引き続き今年度も全児童生徒と保護者に向けた尿検査とアンケート調査を行った。昨年よりも参加率が大幅にアップした。(43%→73%) 昨年度と塩の量を比較したり、保護者と一緒に家庭での食生活を振り返りをしてもらえよう結果表を返却している。  《町の健診と連携した講座の実施》 慶應義塾大学医学部の佐田先生と医学生による4年生に向けた「塩」を題材にしたオンライン授業を行った。  《職員対象のストレスチェックの実施》 義務教育学校教職員の内、県費職員を対象に公立学校共済組合と契約締結し、心のセルフチェックシステムによりストレスチェックを2回実施した。1回目対象者中75.9%が実施し内13.8%が高ストレス判定とされ、2回目対象者中82.8%が実施し内6.9%が高ストレス判定とされた。この結果を分析し、今後のストレス解消に向けた取組を実施したい。	A
	地域とともにある充実した学校	<u>学校応援協議会の提言に対応している。</u> × 4回の会議でいくつかの提言が出されているが実施までには至っていない。  <u>学校給食の町内産野菜使用率が向上する。</u> ○ 平成元年の使用率は82.3%。	《学校応援協議会の運営と充実》 年4回開催しており、今年度は「新しい宿泊学習の在り方について」や、「コロナ収束後における地域学習の新しい在り方について」等協議した。なお、この協議会の活動が、今年度、文部科学大臣より地域学校協働推進で表彰を受けた。  《教育支援委員会による子ども・保護者への支援》 特別な支援を必要とする児童生徒や保護者について地域・学校・教育委員会等が一緒になって情報共有やどんなサポートが必要なのか協議し、1人1人の教育的ニーズに応じた支援を行った。  《学校安全総合支援事業への支援》 学校安全総合支援事業の「通学路安全推進事業」実施区域として五城目町・八郎潟町・井川町・大潟村の3町1村が合同選定され、通学路危険箇所の合同点検の実施、登校時間帯の点検、1年生を対象とした歩行環境シュミレーター体験の安全教育を実施した。危険箇所の改修は5箇所実施でき、未改修箇所は今後も継続して安全指導や改善の要望を行う。  《幼小連絡会議による接続プログラムの作成》 年2回開催し、こどもセンターと義務教育学校の教育が円滑に接続できるよう、取り組みについて協議した。また、例年3回行っている交流活動はコロナウイルス感染拡大の影響により1回のみ実施した。  《教職員研修会(年3回)の実施》 4月に、「義務教育学校は何を目指すか」をテーマに実施し、8月に弘前大学宮崎教授よりオンラインによる「自立的学習者・自立的市民を育てる アクティブ・ラーニング」をテーマにオンライン学習について実施。1月に「基礎的な読む力(読解力)」をテーマに今年度実施したリーディングスキルテストの結果について実施した。  《通学路の安全確保とスクールバスの安全な運行》 今年度は通学路の合同点検を学校総合安全事業で行い、町民体育館前の町道補修、県道沿いの段差解消、学校前の県道30kmへの速度制限、国道285号線から坂本交差点までの県道拡幅工事など実施された。スクールバスの運行については今年度は円滑に運行された。  《学校給食供給システムの検討と改善》 生産者さんとの打ち合わせを会年一回開催し、毎月代表者との打ち合わせをしている。井川産の野菜や果物を献立に多く取り入れて給食で提供し、おたよりや掲示、放送等で食材について紹介している。今後は納めてくれる農家を増やしていきたい。	A
		課題と今後の方向	コロナ禍の中、学校の運営の紆余曲折はあったものの、総じて取り組みが効果的でよい結果につながった。特に社会性の伸長については義務教育学校の特色となるよう、教育委員会が積極的に下支えをしている。 一方、授業改善やカリキュラムの工夫については教師の意識改革が必要であり、前例踏襲を今一步抜け出すことができなかった。 来年度は、アクティブラーニングが各教室に広がるよう、研修や調査等の充実が一層必要である。	



(2) 生涯学習

理念	重点	到達目標 (□) と結果 (○△×)	具体的取り組み (〱) と成果	評価
<p>あたたかな心 夢ときめく ひとづくり</p>	<p>豊かで楽しい学習機会の保障</p>	<p>各種事業の満足度が向上する。 △ 講座やイベントがコロナウイルス感染拡大によりほとんど中止となったため、満足度の測定ができなかった。</p>	<p>《社会教育委員の会議・公民館運営審議会》 社会教育委員の会議を2回行い、「井川町成人式の時期やあり方について(諮問)」に対し2月に答申をもらった。また公民館運営審議会を1回実施した。</p> <p>《高齢者大学》 今年度は39名の申し込みがあったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開講を見送った。37名分の年会費は、2日にわたって返金した。</p> <p>《移動公民館・いきいき町民セミナー》 新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を中止した</p> <p>《放課後子ども教室》 放課後拡充カリキュラムの開始に伴い子ども達の放課後の時間を充実させるよう、放課後子ども教室を毎週開催した。内容に工夫を凝らした算数・英語教室には低学年を中心に平均10名ほどの子ども達が参加をしている。これらの活動により、今年2月、地域学校協働活動で文部科学大臣表彰を受けた。</p> <p>《生涯学習奨励員の活動》 奨励員は10名を依頼、生涯学習奨励員会報「やまどり」を年3回発行。新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止になった事業もあったが、その中でも積極的に研修を行った。</p> <p>《全町盆踊り》 新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を中止した</p>	<p>多くの事業が未実施のため評価なし</p>
	<p>地域の教育力向上への支援 教育力向上への支援</p>	<p>家庭教育支援の事業が充実する。 × 昨年度と同様に1回の講座しか開催できなかった。</p> <p>公民館図書室の利用者数が増加する。 × 図書室リニューアルのため12月で一時的に閉館したため、昨年度よりも12名の減となった。</p>	<p>《家庭教育支援での学校等との連携強化》 家庭教育支援事業では就学時健診時に保護者27人を対象に家庭教育講座を実施した。</p> <p>《子ども教室の多様な講座や取り組みへの支援》 長期休みには地域学校協働活動推進員が講師になって体験活動教室を開催している。今年は夏休みに「ストーンアート」、冬休みには「ドリームキャッチャーづくり」を開催してそれぞれ30名ほどの児童が参加した。これらの活動で文部科学大臣表彰を受賞した。</p> <p>《図書室の貸し出し数等と広報や展示の工夫》 1月末現在の公民館図書室貸出冊数は672冊、利用者数は251名で、昨年度に比べて冊数は73冊の減、利用者数は12名の減である。新刊図書は広報に掲載することで周知に努めた。また、公民館図書室・みなくる・義務教育学校図書室に図書管理システムを導入した。今後、検索等をオンライン利用が出来る環境が整ったため、利用促進に努め機能の拡充を図りたい。</p> <p>《選書ツアーの実施》 参加者22名、秋田県立図書館での研修とジュンク堂での選書を行った。参加者全員、選書から書籍の紹介ポップ作りまで喜んで参加していただけた様子であった。</p> <p>《花植え活動など世代間交流の充実》 毎年6月に義務教育学校生徒と老人クラブによる地域花壇花植を実施しているが、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため老人クラブのみでの開催となった。今後も情勢を確認しながら開催をしていきたい。</p>	<p>多くの事業が未実施のため評価なし</p>
		<p>課題と今後の方向</p>	<p>コロナ禍により多くの事業や行事が中止となる中、コロナ対応事業の拡充で図書室を整備したり選書ツアーなどを新たに実施して多くの参加を得るなど新しい可能性を見出すことができた。また社会教育委員から成人式の提言をもらい方向性を明確にすることができた。 来年度の事業や行事も中止になることも想定されるが、こうした折だからこそ必要な事業ややり方について再検討し、これまでの旧弊を打破したい。</p>	

(3) 芸術文化の振興と文化財保護

理念	重点	到達目標 (□) と結果 (○△×)	具体的取り組み《》と成果	評価
あたたかな心 夢ときめく ひとづくり	郷土の歴史・文化の保護・継承・活用	文化財継承の課題解決について方向性を出す。 × コロナウイルス感染拡大により協議会の開催ができなかった。	《歴史民俗資料館の利用状況と成果・課題》 1月末現在での来館者は59名であり、昨年度よりも22名の増となっている。今年度は特別展の開催はできなかった。  《義務教育学校での今戸願人の取り組み》 義務教育学校3年部「井川みらい学」で願人踊りと民謡手踊りの発表があった。学校での練習は保存会の方々に携わってもらい本格的な体験となっていた。 学校の活動で、今戸で行われる願人踊りと手踊りに参加したいという児童が増加した。  《文化財保護の状況と成果》 坂本城跡法面補修と新屋敷板碑の修繕を行い、長寿命化をはかった。今後も状況の把握に努め、適切な対応を行っていきたい。	B
	芸術文化の振興	芸術文化団体・サークルへの活動支援を充実させる。 × 町芸術文化協会への参加団体は昨年と同様の20で、少子高齢化で活動が縮小している団体もあり、目標は達成されていない。	《芸術文化団体への助成等と成果》 今年度は芸術文化協会へ20万円の補助。「芸文井川」「芸文協だより」を発行。今年度はステージ発表が行えなかったが、町民作品展覧会での作品出展に積極的な協力をいただいた。今後も現会員をしっかりと支援し活動を続けやすい環境を作っていきたい。	B
課題と今後の方向			コロナ禍で多くの会議を中止したほか、サークル活動の発表会もほとんどできず、不完全燃焼の一年であった。 来年度は特に文化財保護について、収集保存について計画の立案が早急に求められている。子どもたちへの文化財に関わる教材開発とともに取り組みたい。	

(4) 生涯スポーツ

理念	重点	到達目標 (□) と結果 (※)	具体的取り組み《》と成果	評価
あたたかな心 夢ときめく ひとづくり	生涯スポーツの振興	各種大会やイベントの満足度が向上する。 △ 多くの大会が中止となったため、満足度の測定ができなかった。	《各種大会、チャレンジデー、自然ウォーク、井川マラソンの実施状況と成果》 チャレンジデー、町民体育大会、町民野球大会、井川マラソン、バスケット大会は新型コロナウイルスのため中止とした。 予防対策をとって行えた自然ウォーキング(36人前年比-1)、全町卓球大会(38人前年比+16人)、バレー・ソフトバレー大会(16チーム前年比-2チーム)に関しては、この時期に参加できて良かったとの声を多くいただいた。  《学校スポーツの充実》 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、大型サーキュレーター2台、送風機6台を設置し、体育館等での感染症対策を充実させた。また今年度義務教育学校バレーボール用ネットを更新し、体育用エバーマット・ラダーロープ等を購入し体育種目の充実を図り、夏場の水泳についても、スクールバスを活用し、旧井川小学校町民プールでの授業を実施した。	多くの事業が未実施のため評価なし
	課題と今後の方向			コロナ禍により卓球、バレーボールを除くすべての体育的な事業が中止となって、生涯スポーツの満足度も測定できなかった。 来年度はすべての大会で満足度調査を実施し、その結果を精査して生涯学習に資する豊かな活動を目指したい。

## 外部委員評価 （評価委員 石井昭廣氏）

### （1）学校教育

- ア 教育の理念や目標を確認し、学力向上を努力目標に据えている。その一つ的手段として、対話や討論のある授業を推進し、成果を得ている。
- イ 教育機器の整備を進め、オンライン授業の導入などの一人一人を生かす多様な授業を展開している。
- ウ ふるさとの先人の国語副読本の制作・活用など積極的な授業改善のサポートをしている。
- エ 学校支援員の配置などにより、学校の ICT 化のサポート体制を整えている。
- オ ふるさとや社会的な事象や歴史を知る課外学習などの推進に力点を置いている。
- カ 新型コロナ禍における学校対応は適切である。さらに命の教育、防災教育、公衆衛生教育等、生活習慣の改善が望まれる。

### （2）生涯学習

- ア 社会教育に関する事業の推進等は、コロナ禍の下で十分実施できなかった状況は十分理解できる。
- イ 生涯学習は少子高齢化であればあるほど、どの年代においても大切である。特に青少年などの若い年代は、次代を担う人材であることから、連携、学習や実践は極めて大切になってくるものと思われる。
- ウ 公民館の使用、図書室の利用、図書の貸し出し等、充実してきている。

### （3）芸術文化の振興と文化財保護

- ア 芸術文化活動、郷土の歴史と文化財保護、継承、活用等、少ない人数ながらよく企画運営されている。
- イ 少子高齢化による活動人員の減少は、活動のみならずつながりと継承はますます難しくなると思われる。特に次世代を担う若い年齢層の参加体制の強化が望まれる。
- ウ 人員も予算も少ない中での運営・活動は、極めて難しさがある。できる限りの応援者、ボランティアの参加が期待される。

### （4）生涯スポーツ

- ア 学校スポーツは、人数が少ない中、多彩な種目で、かつ、十分に目標を達成していると思われる。
- イ コロナ禍での生涯スポーツは、大変困難に直面している。新しい生活様式の構築「人とのつながり」からしても、今後十分な活動が期待される
- ウ 健康長寿や生きがいの視点から、多様で少人数でも可能な活動の推進が望まれる。

### （5）総合評価

- ア 教育基本計画を見直し、状況の変化に応じて、各種組織・団体が事業を進められるよう実践をサポートしている。その成果が認められる。
- イ 社会は、人づくり、家庭づくり、地域づくり、社会づくりへとつながっているが、ますます縮小化の流れに直面している。〇〇づくりが、すべて「人とのつながり」であることを考えると、大震災に学ぶ「愛と慈悲」を第一に心したい。

ウ 各自がもつ、「心技体知」を全開し、共に希望を持ち、さらに前進されていくことが期待される。